

老年看護学

専門分野

授業科目	高齢者看護の実践	講師	氏名	①桑原麻衣 ②島居彩香	開講年次	2年次 前～後期	単位・時間	1単位 30時間
			所属	①専任教員 ②病院				
			実務経験	①臨床看護師 ②摂食嚥下障害看護認定看護師				
科目のねらい	高齢者の生活では、加齢の変化と、さまざまな疾患や薬剤による影響、環境から起こる変化が重なって起こる。医療体制が病院から地域へシフトしてきていることを考えると、地域全体で高齢者ケアを考え、生活機能の視点をもった看護を実践していく必要がある。高齢者の生活を支える視点の上に、高齢者に起こりがちな身体症状や、疾患・障害をもつ高齢者に対し、生活機能の視点からどのようなケアが実践されればよいのかを考え、その人らしさを尊重するという目標志向型思考に沿って、健康課題の抽出から実践をする基礎的能力を養う。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢に伴って生じる食生活の変化に対するアセスメントと健康的な食生活のためのセルフケア支援方法を説明できる。</li> <li>2. 加齢に伴って起こりやすい排泄の機能に関する障害のアセスメントとセルフケア支援方法を説明できる。</li> <li>3. 高齢者のオムツ交換、口腔ケア（義歯の清潔）が実施できる。</li> <li>4. 高齢者の清潔に関するアセスメントとセルフケア支援方法を説明できる。</li> <li>5. 高齢者の活動と休息の特徴と睡眠の特徴を理解し、アセスメントと支援方法を説明できる。</li> </ol>							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の脱水、低栄養のアセスメントをし、看護を考えることができる。</li> <li>2. 尿失禁、便秘・下痢がある人のアセスメントをし、援助方法を考えることができる。</li> <li>3. 便秘にてリネンを汚染した時のオムツ交換とリネン交換を清潔・不潔を考えながら実施できる。</li> <li>4. 掻痒、痛みがある人のアセスメントをし、ケアを考えることができる。</li> <li>5. 高齢者の感染予防と感染症の看護を考えることができる。</li> <li>6. 高齢者の視覚障害、聴覚障害が日常生活に与える影響を考えることができる。</li> <li>7. 事例を通し、在宅での生活を視野に入れた看護を考えることができる。</li> <li>8. 不眠に対するケアを必要としている人のアセスメントをし、援助方法を考えることができる。</li> </ol>							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 加齢の変化を復習することができる。</li> <li>2. 様々な資料を活用し、看護を展開することができる。</li> <li>3. オムツ交換、口腔ケアの方法、留意点を学習し実技練習することができる。</li> <li>4. グループワークでメンバーの意見を受け入れながら活発な意見交換をすることができる。</li> </ol>							
科目評価	定期（実技）試験50% レポート課題30% 単元別試験20% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践（メディカ出版）							
参考文献	生活機能からみた老年看護過程（医学書院） ロイ適応看護理論の理解と実践（医学書院） NANDA-I看護診断 定義と分類（医学書院）							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	事例患者の情報収集Ⅰ		○		桑原麻衣	体の構造 体の機能Ⅰ 日常生活からみる 体療養生活援助技術Ⅱ 看護過程 暮らしを支える	単元別試験：加齢に伴う身体機能の生理的変化事例患者に必要な情報をグループワークにて検討する。	
2	事例患者の情報収集Ⅱ		○		桑原麻衣		アーツルーム、白衣患者役教員より情報収集を行う。	
3	1. 食生活を支える看護 1) 高齢者にとっての食事の意味、特徴 2) 脱水 3) 摂食嚥下障害 4) 低栄養	○			島居彩香			
4	排泄を支える看護		○		桑原麻衣		加齢による排尿、排便の変化とその看護について事前に学習しておくこと。排泄を支える看護について個人で調べたものをもとにグループワークを行う。	
5	発表会			○				
6	オムツ交換、口腔ケア（義歯の清潔）の実践		○				アーツルーム、白衣	
7	清潔、活動と休息を支える看護（入浴後の外用薬投与など）		○				高齢者の清潔保持に影響するもの、活動と休息に影響を与える要因とその看護について事前に学習しておく。清潔、活動と休息を支える看護について個人で調べたものをもとにグループワークを行う。	
8	発表会			○				
9								
10								
11								
12								
13	事例患者の看護の展開		○				事例検討（ロイの適応様式に沿って看護を展開する。）	
14								
15					課題レポート提出：事例の看護過程 実技試験はこの事例の看護実践を行うものとする。			
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							